第明治二十二種五郵年三月物三十一認可日便

(3) 洋服製作の基礎
ア　採寸
イ　型紙の基本
ウ　デザインと材料の選択
エ　裁断
オ　仮縫いと補正
カ　縫製
キ　仕上げ
ク　着装
(4) 和服製作の基礎
ア　和服の構成と名称
イ　材料の選択
ウ　寸法の見積りと裁断
エ　縫製
オ　仕上げ
カ　着装

3　内容の取扱い
(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。
ア　〔指導項目〕の(3)及び(4)については，生徒の実態や学科の特色に応じて，いずれかを選択して扱うことができること。
(2) 内容の範囲や程度については，次の事項に配慮するものとする。
ア　〔指導項目〕の(1)のアについては，人体構造と被服との関係性，人体を覆う被服の形，動作に適応した被服のゆるみなどを扱うこと。イについては，立体構成と平面構成の特徴を扱うこと。
イ　〔指導項目〕の(2)のアについては，繊維，糸及び布を中心に扱い，新素材や特殊素材についても触れること。
ウ　〔指導項目〕の(3)及び(4)については，資源や環境に配慮した材料の扱い方についても触れること。

第11　ファッション造形

1　目　標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，ファッション製品の創造的な製作を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) デザインや着用目的に応じたより高度なファッション造形について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
(2) ファッション造形に関する課題を発見し，ファッション製品の製作を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3) 衣生活の充実向上と創造性豊かな作品の製作を目指して自ら学び，ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2　内　容

1に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。
〔指導項目〕
(1) ファッション造形の要素
ア　デザイン
イ　構成技法
ウ　材料
エ　縫製
(2) 洋服製作
ア　デザインの選定
イ　材料の選択と取扱い
ウ　パターンメーキングとアパレルCADの活用
エ　裁断
オ　仮縫いと補正
カ　縫製
キ　仕上げ
ク　着装
(3) 和服製作
ア　材料の選択
イ　裁断
ウ　縫製
エ　仕上げ
オ　着装
(4) 総合実習

3　内容の取扱い
(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。
ア　〔指導項目〕の(2)及び(3)については，生徒の実態や学科の特色に応じて，いずれかを選択して扱うことができること。
イ　〔指導項目〕の(4)については，個人又はグループで適切な課題を設